

<指導上のポイント>

「季節感」の問題は、時間感覚の発達していない幼児には理解することが難しい問題のひとつです。日常生活の中で、四季感覚の育成に努めるべきですが、文明の発達が季節感を喪失させている面もあるので、俳句などの季語のような感覚で知識として暗記させてしまうことしか方法はないでしょう。

各季節を代表するようなものを、ゲーム感覚で教えるのが一番の方法です。たとえば、坊主めくりの要領で、夏が出たらカードをもらい、冬が出たら吐き出し、春か秋ならばそのカードだけ出すゲームがあります。

また、季節ごとに色画用紙の上に貼っておくという方法もあります。例として、春なら桃色、夏なら緑色、秋なら赤色、冬なら白色の色画用紙を使います。そうして、誰もが目の届く壁に貼っておいて、子供が覚えやすくしておけば、まず大丈夫でしょう。

また、同じ季節のものであっても、行事などは「ひなまつり（3月）」・「入学式（4月）」・「こどもの日（5月）」の順に来るということを教えるのも重要なことです。

「花や植物」

春 たんぽぽ、チューリップ、ヒヤシンス、パンジー
カーネーション、桜、つくし、竹の子、菜の花、すみれ



夏 あじさい、百合、あさがお、ひまわり、バラ



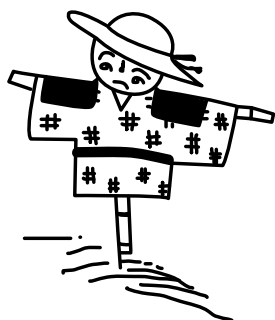
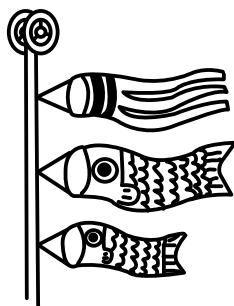
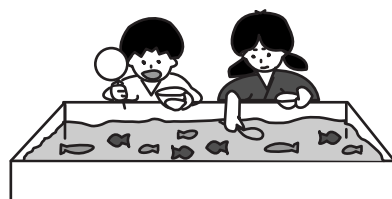
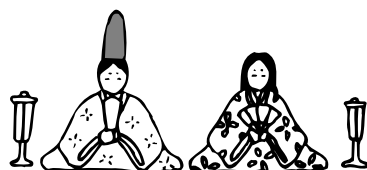
秋 菊、コスモス、銀杏、つた、かえで、すすき、松茸



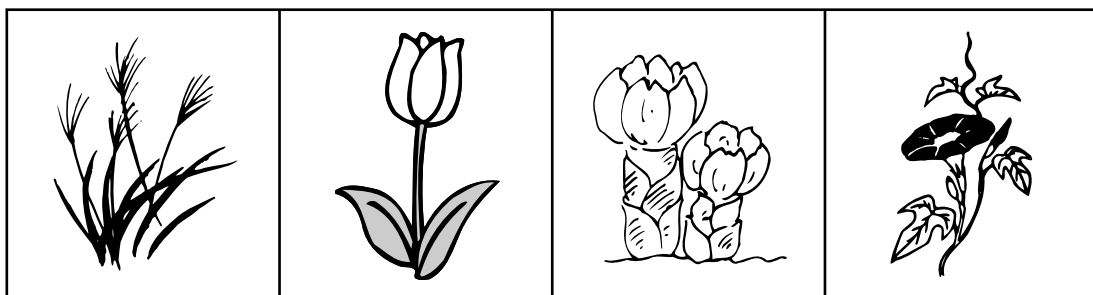
冬 福寿草、ふきのとう



<例題 1> 秋のものの絵に○を、冬のもの絵には△をつけましょう。

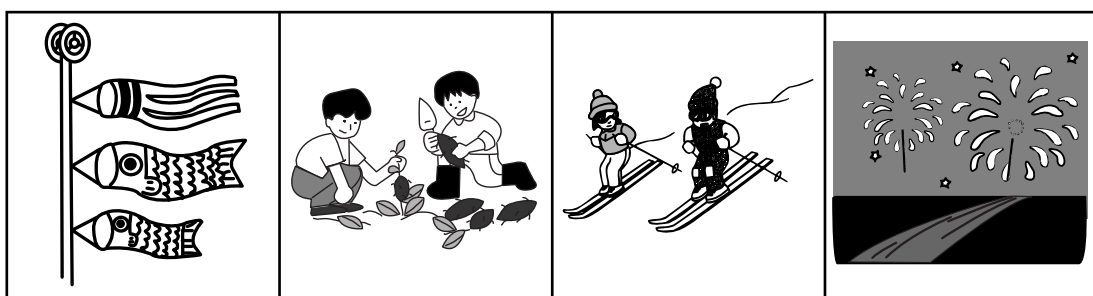


<例題 6> 同じ季節のものどうし、・と・を線で結びましょう。



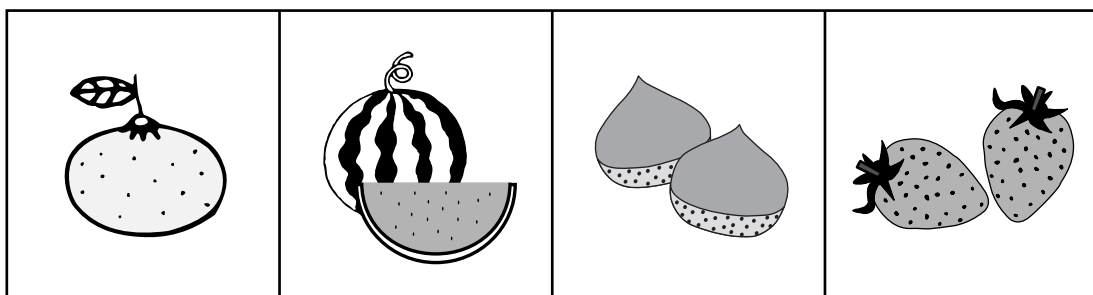
● ● ● ●

● ● ● ●

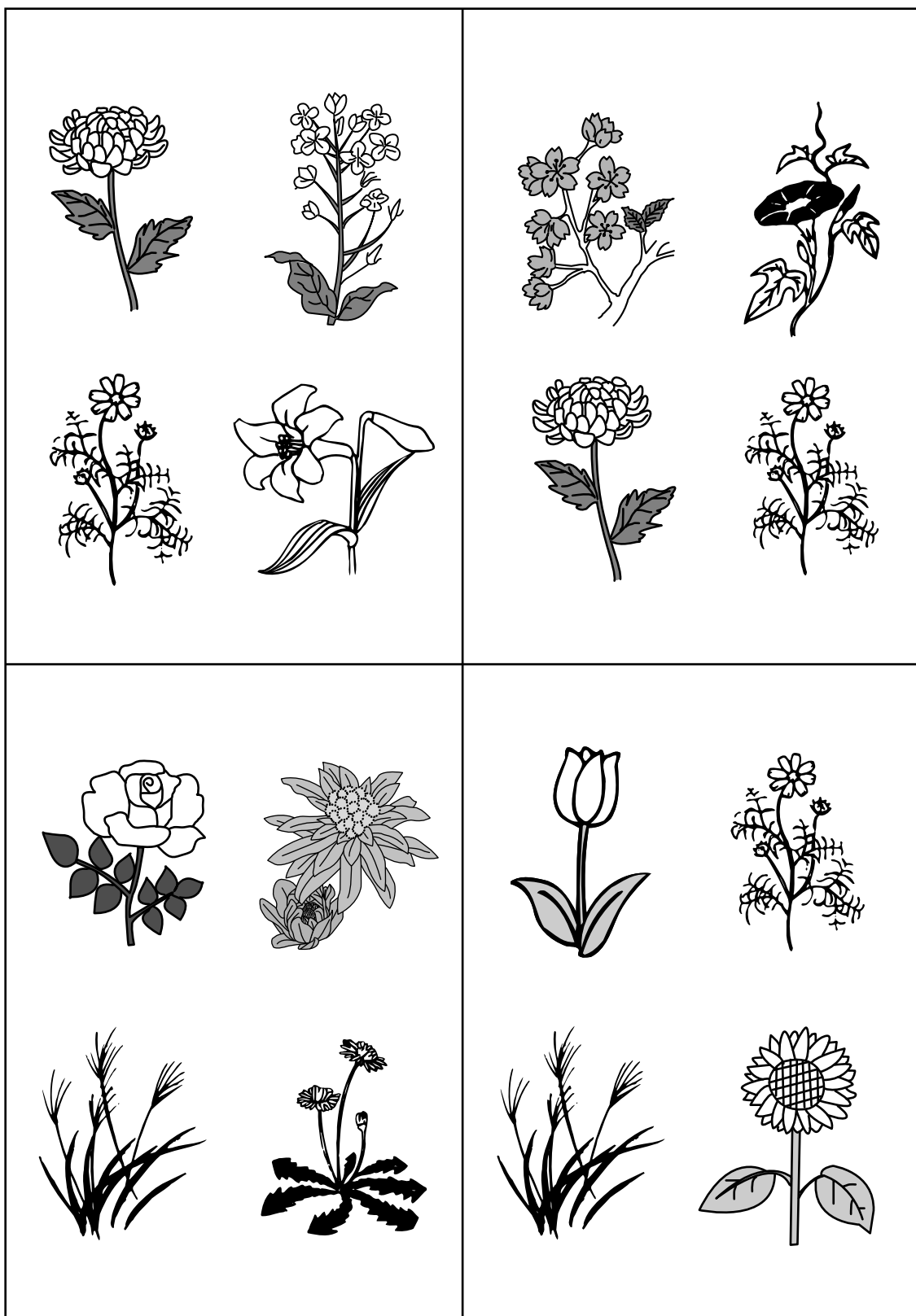


● ● ● ●

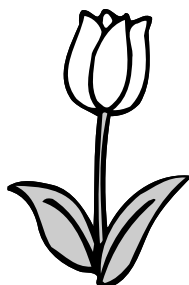
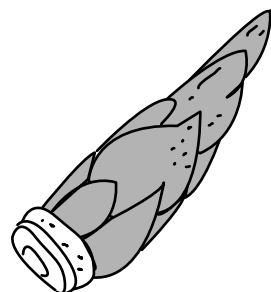
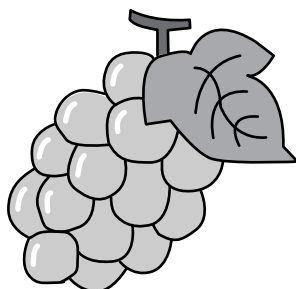
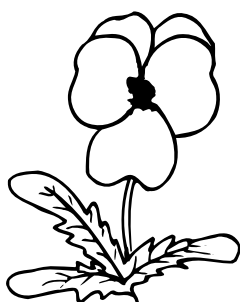
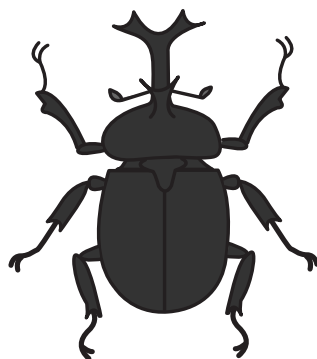
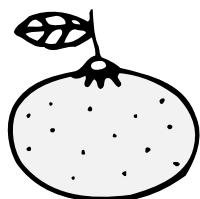
● ● ● ●



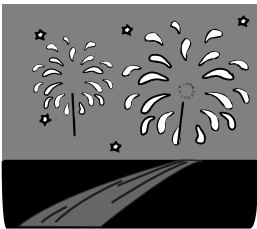
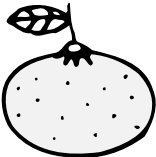
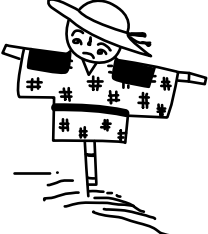
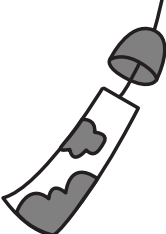
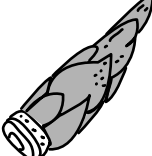
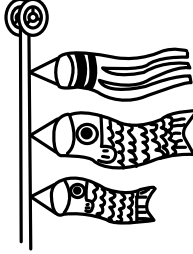
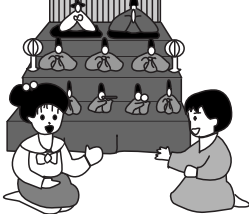
<例題11> 下の絵の中で、一年のうちで一番早く咲く花に○を、
二番目に早く咲く花に△をつけましょう。



<例題 3>の類題③ 冬の次に来る季節の絵に○をつけましょう。



<例題7>の類題① ちがう季節のものを見つけて、×をつけましょう。

<例題11> 下の絵の中で、一年のうちで一番早く来る行事に○を、二番目に早く来る行事に△をつけましょう。

